

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 金沢市立米泉小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
所在地 〒921-8044  
石川県金沢市米泉町4丁目133番地2  
E-mail yonaizumi-e@kanazawa-city.ed.jp  
Website http://cms.kanazawa-city.ed/yonaizumi-e/  
幼児児童生徒数 男子 184 名 女子 170 名 合計 354 名  
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「米泉からつながろう」を活動テーマとして、ESDを地球規模の諸問題の解決と捉え、ESDの実践を通して、身近な自然や社会に対して主体的に働きかけていく力の育成を目標とした。

具体的には、「人々から学ぶ」「環境から学ぶ」「地域や金沢から学ぶ」を柱に、①自然発見に係わる学習、②米泉の町紹介に係わる学習、③伝統文化に係わる学習、④福祉に係わる学習⑤伏見川環境保全に係わる学習⑥金沢に係わる学習を行った。

### ① 自然発見に係わる学習

1年生は、春にあさがおの種まきをして、成長の様子を楽しみにしながら、世話をしたり観察をしたりした。きれいな花がたくさん咲いたことや、数多くの種が取れたことを喜び、あさがおの茎を使ったリースも作った。学習発表会では、「あき、みつけた」というテーマで、秋の木の実や葉で、おもちゃや飾りを作ったことや、秋の虫について調べたことを発表した。他学年・保護者の方々に聞いてもらい、「できた・わかった・もっとやってみたい」という充実感をもつことができた。

## ② 米泉の町紹介に係わる学習

家の近くのおすすめの場所を紹介し合った後、みんなで校区の町たんけんに出かけた。その際、西金沢駅の見学を行った。駅の施設やホームで列車の来る様子を見学した後、駅員さんにお話を伺い、質問に答えていただいた。その結果、駅には利用者の安全を守るための様々な工夫があることや、体の不自由な方や外国の方に対するきめ細かい配慮がされていることがわかった。

児童は、駅で働く人々の仕事や努力を知ることによって新しい発見をすると同時に、自分たちも利用者の一員として、ルールを守って駅を利用しようという意識を持つことができた。

## ③ 伝統文化に係わる学習

地域の方から、校区の夏祭りでは踊っている盆踊りの話を聞いた。その方々が、どんな願いから踊ることになったのか、また、校区の盆踊りについてどんな願いを今持っているのかを聞き、「もっと多くの人に踊ってもらえるよう、自分たちが学び、盆踊りを広めたい。」という思いを持った。踊り方を学ぶと共に、盆踊りの由来や種類等を調べ、校内で発表した。校区の公民館や老人ホームでも、お年寄りの方々と一緒に楽しく踊り、自分たちが学んだことを地域にも発信することができた。

児童は、今後も地域の盆踊りに参加して、盆踊りの楽しさを広めたいという思いを持つことができた。

## ④ 福祉に係わる学習

校区内にある「ゆうけあ相河」を訪問し、体が思うように動かないお年寄りの方々のために自分たちには何ができるのか考えた。2回の訪問を通してお年寄りの方々とふれあい、お年寄りの方々のために何ができるかを考え、実行することができた。さらに、お年寄り以外にも体に不自由がある方々が便利に暮らすための工夫を調べた。見ることが不自由な方々、聞くことが不自由な方々、体を動かすことが不自由な方々など、それぞれのグループに別れ、他学年が分かるように言葉を選び、クイズなどを交えながら、楽しく発表することができた。

## ⑤ 伏見川環境保全に係わる学習

伏見川の生き物やゴミの観察をもとに、生活と環境のつながりを考える学習を行った。伏見川にゴミが捨てられている様子から、川をきれいにしたいという願いをもち、そのために自分たちには何ができるかを考えるなど、日常生活と環境とのつながりについて考える姿が見られた。

さらに、地域の環境だけでなく、川と海・山のつながりから地球規模の環境問題に関心を持ち、地球温暖化、水質汚染、エネルギー問題、地盤沈下、砂漠化、絶滅危惧種、食糧問題や森林資源などについて調べ、学習発表会で地域の方や保護者に発表した。

## ⑥ 金沢に係わる学習

金沢の名所や伝統・文化、偉人、歴史等を調べまとめた。調べる際は、児童一人一人の興味や疑問を大切にグループを作り、遠足でのフィールドワークや、文献調査を行った。児童は、意欲的に調査活動に取り組むとともに、未来の金沢のよりよい姿について考えることができた。

11月の学習発表会では、1～5年生や保護者、地域の方々に調べたことを発信した。一人一人が調べたことを発表用資料にまとめ、相手意識をもって分かりやすく伝えることができた。また、一人一枚のパンフレットを作り、金沢の魅力を発信することができた。

### ① 自然発見に係わる学習



### ② 米泉の町紹介に係わる学習



③伝統文化に係わる学習



④福祉に係わる学習



⑤伏見川環境保全に係わる学習



⑥金沢に係わる学習



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ・金沢市公式ホームページ
- ・大阪府地球温暖化防止活動推進センターHP
- ・日本海ガス HP

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1、2年生は生活科の時間に、3～6年生は総合的な学習の時間にユネスコスクールの活動を教育課程に位置づけ、計画的に行った。また、教育課程にも詳細な活動内容を記載し、共通理解を図ることで指導内容を適切に実施することができた。指導を実施するに当たって、体験的な活動を多く取り入れることで、児童が深い理解ができるように工夫した。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

自分たちが調べたいテーマに沿って、学校内で調べられるように、インターネット環境を整えた。また、本を使っての調べ学習を充実させるために、毎年テーマに沿った本を補充し、児童が新しい情報を得られるように図書館も整備した。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

活動を振り返り、それをポートフォリオを活用して、学級内だけではなく、校内でも互いの活動内容を見合うことで、共有することができた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

学習発表会を通して、取り組んだことを他学年、保護者や地域の方々などへ発信し交流することができたが、他校への情報発信はできなかったため、今後は、金沢ユネスコスクール子どもサミットで紹介されるであろう、各校の取り組みを全校にも紹介することで、他校とのつながりをはかりたい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

昨年度に引き続き、取組の共通理解を図った。学習発表会では、それぞれの学年で日々の学習や実践を地域の方々と学校全体に発信した。学びや発見が伝わるように、相手意識を持った発信を意識させていく必要がある。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

4年前から台湾のウェンヤ小学校との交流を行っている。今年度は、4～6年生の教室にウェンヤ小学校の児童が入り、一緒に授業を行い、子どもたち同士の交流を図ることができた。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

各学年でテーマを明確にすることで、見通しをもって学習に取り組むことができた。また、米泉の校区や金沢の自然や文化・地域の方々と触れ合うことによって、充実した内容の体験活動となった。それによって、地域の環境や文化との「つながり」を意識し、「自分たちにできることは何か」を考え、主体的な調べ学習、発信ができた。今後もより多くの体験活動から学ぶことができるように、活動の際には保護者や地域ボランティアの方にサポートをお願いすることを検討していきたい。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今年度に引き続き、各学年がそれぞれ設定したテーマに基づき、学習を行っていく。来年度も「米泉からつながろう」を活動テーマとして、ESDを地球規模の諸問題の解決と捉え、ESDの実践を通して、身近な自然や社会に対して主体的に働きかけていく力の育成を目標とする。具体的には、「人々から学ぶ」「環境から学ぶ」「地域や金沢から学ぶ」を柱に、①自然発見に係わる学習、②米泉の町紹介に係わる学習、③伝統文化に係わる学習、④福祉に係わる学習⑤伏見川環境保全に係わる学習⑥金沢に係わる学習を各学年で進めていく。

また、発表の場としては学習発表会を設定し、校内だけでなく広く地域の方々にも発信できるようにする。